

# ワイド地域プラスPLUS

## 教えて、キミのアイデア

置賜と最上地方の中学生から、地域の魅力発信と課題解決に生かせるアイデアを募集する「びっくりコンペ」が開催されている。動画投稿サイト「ユーチューブ」で情報発信を行う2組の高校生グループがPR大使を務め、若者の視点から生み出される斬新な発想を募集している。

### 「びっくりコンペ」開催中

「TSS」。3月27日付の本紙で、両者の活動を紹介する記事が掲載されたことをきっかけに連絡を取り始め、昨年は置賜地方に限定していた地域活性化アイデアコンテストを、最上地方にも拡大して開催することになった。

「びっくりコンペ」は、総務省の「異能vationネットワーク」の指定を受けて米沢東高が主催する事業で、「雪道を安全に通行できる」「自然の中の遊びが100倍楽しくなる」などのテーマについて、近未来的な技術やアイデアを募集するコンテスト。置賜、最上の両地方の中学生を対象に募集し、地域・社会への理解度、経済波及効果、独創性を基準に入賞者を決める。上位者には地域の特産品詰め合わせをプレゼントする。

特産品の内容は2組がコラボ動画を撮影しながら決定。WATSは、最上地方のお土産品として、くじら餅や、新庄東山焼き、方言が書かれたクリアファイルなどを紹介した。

おたみやとして活動する米沢東高3年大竹希美さん(17)と「宮後哲さん(18)」は「県内の高校生で、同じような活動をしている人がいてうれしくなり、一緒に活動したいと思った。地域の特色を生かした活動で、山形県全体を盛り上げるきっかけにしたいと話していた。

アイデア募集は7月22日まで。600字以内でアイデアをまとめ、郵送かFAXで応募する。詳細は米沢東高のホームページ(https://www.yonezawa-higashi-h.ed.jp/hdocs/)。(米田徹)



ビデオ会議アプリを使ってリモートコラボ動画を撮る「おたみや」と「WATS」のメンバー  
＝米沢市・米沢東高

## 置賜、最上の中高校生 地域活性化へPR大使

おたみやとして活動する米沢東高3年大竹希美さん(17)と「宮後哲さん(18)」は「県内の高校生で、同じような活動をしている人がいてうれしくなり、一緒に活動したいと思った。地域の特色を生かした活動で、山形県全体を盛り上げるきっかけにしたいと話していた。

アイデア募集は7月22日まで。600字以内でアイデアをまとめ、郵送かFAXで応募する。詳細は米沢東高のホームページ(https://www.yonezawa-higashi-h.ed.jp/hdocs/)。(米田徹)